



ELECOM

TRUMPF



PATEK PHILIPPE
GENEVE

TRUSCO®



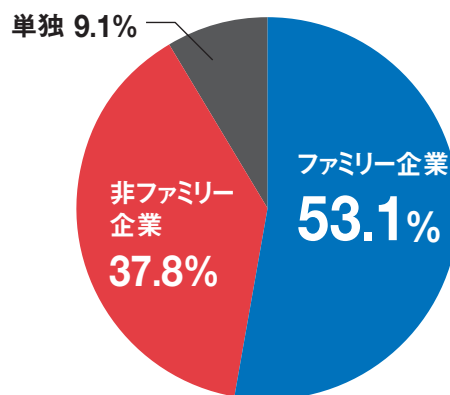
MERCK

同族だから強い

不透明な時代を乗り切る変革力

意外と多い「ファミリー企業」

● 上場企業におけるファミリー企業の割合



出所:「ファミリービジネス白書 2015年版」(後藤俊夫監修)。調査は日本経済大学の落合康裕准教授らが中心となって実施。ファミリー企業の定義は、「創業家など親族の複数が十大株主、あるいは役員として影響力を保持している」企業。社歴が浅く、創業者のみが影響力を保持する場合は「単独」とした

SCHAEFFLER



FAG



TSUNEISHI
GROUP

MERCK

TRUMPF



Japanet



ファミリー企業（同族企業）。日本でそのイメージは必ずしも良くはない。
同族支配は古き統治形態と見なされ、「お家騒動」など、負の側面で語られることも多い。
だが、欧米ではむしろ評価の対象であり、学術的な研究も盛んに行われてきた。
実際、ファミリー企業の業績や経営指標は非ファミリー企業に勝るとも劣らない。
跡目を継いだ歴代は、リスクを取って果敢に変革へと挑みながら、家業を守り抜いてきた。
後任指名され、前社長の機嫌をうかがい、変革できずに潰れていく“サラリーマン社長”とは対照的だ。
東芝、シャープ…。世界的なメガブランドですら、消滅の危機に立たされている。
企業の「永続性」が問われる今こそ、ファミリー企業から学べることは多い。

＝文中敬称略（井上 理、池松 由香）

